

=====

\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No. 407 \*\* 2013/7/26

=====

- +++++
- ◇ 今後のHPCI計画推進の在り方について（中間報告）に対する意見募集について（7/30正午まで）（ご案内）
  - ◇ 平成25年度共同主催国際会議「2013年京都国際地理学会議」の開催
  - ◇ 日本学術会議主催学術フォーラム「科学・技術を担う将来世代の育成方策を考える—教育と科学・技術を価値創造につなぐために—」開催のご案内
- +++++

■-----

今後のHPCI計画推進の在り方について（中間報告）に対する意見募集について（7/30正午まで）（ご案内）

-----■

平成25年7月8日に、「<日本学術会議事務局>今後のHPCI計画推進の在り方について（中間報告）に対する意見募集について（7/30正午まで）」という件名のメールを送付させていただいております。

詳細につきましては、7月8日にお送りしております上記メールをご覧ください。

ご協力いただける場合は、お手数ですが、

7月30日（火）正午までに

日本学術会議事務局審議第二担当 [g.sanjikanshingi@cao.go.jp](mailto:g.sanjikanshingi@cao.go.jp)  
あてにアンケートを返信願います。

ご多忙中、恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本件に関する連絡先

----

日本学術会議事務局（審議第二担当）  
[g.sanjikanshingi@cao.go.jp](mailto:g.sanjikanshingi@cao.go.jp)

■-----

平成25年度共同主催国際会議「2013年京都国際地理学会議」の開催

-----■

会 期：平成 25 年 8 月 4 日（日）～8 月 9 日（金）[6 日間]

場 所：国立京都国際会館（京都府京都市）

日本学術会議と IGU 日本国内委員会が共同主催する「2013 年京都国際地理学会議」が、8 月 4 日（日）より、国立京都国際会館で開催されます。

当国際会議では、「地球の将来のための伝統智と近代知」をメインテーマに、地理学における文化的アプローチ、経済空間のダイナミクス、グローバル変化と人口流動、地理情報科学、生物多様性、自然災害、土地利用・土地被覆変化、土地の荒廃と砂漠化、農村システムの持続可能性、ジオパーク、地理教育、地理オリンピック、水の持続可能性等を主要題目として、1,200 件を超える研究発表と討論が行われることとなっており、その成果は、地理学の発展に大きく資するものと期待されます。また、本会議には 69 ヶ国・地域から約 1,400 名の参加が見込まれています。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、8 月 4 日（日）に楊逸氏（作家）による特別講演「地理環境と言葉」、6 名の講演者による講演会「ジオパークから学ぶ日本の自然と文化」が開催されることとなっております。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、ご参加いただけますようお願いいたします。

#### 2013 年京都国際地理学会議 市民公開講座

日 時：平成 25 年 8 月 4 日（日）

（特別講演）10:30～11:30 「地理環境と言葉」

（講演会）13:00～16:00 「ジオパークから学ぶ日本の自然と文化」

会 場：京都大学百周年時計台記念館大ホール

参加費：無料

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ (<http://www.igu-kyoto2013.org/>)

【問合せ先】日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当

(Tel : 03-3403-5731、Mail : [i254@scj.go.jp](mailto:i254@scj.go.jp))

---

日本学術会議主催学術フォーラム「科学・技術を担う将来世代の育成方策を  
考える—教育と科学・技術を価値創造につなぐために—」開催のご案内

---

1 日時：平成 25 年 8 月 12 日（月）13:30～17:30

2 場所：日本学術会議講堂

3 趣旨

日本学術会議課題別委員会提言「科学・技術を担う将来世代の育成方策」の報告と共に、科学・技術を担う研究者、技術者、産業界をつなぎ、また人材育成の各段階（初等、中等、高等、生涯教育）を担う教育界、関連行政界、

産業界も含めた様々な関係者が一堂に会して、次世代の科学技術を担う人材育成に対する理解、共感、協働の強化と、そのために必要なインフラの整備などについて議論をし、社会の認識と理解を深めることを目的とする。

4 プログラム(敬称略)

13:30 開会挨拶 金澤一郎（日本学術会議連携会員・元日本学術会議会長）

13:40 講演 教育と科学・技術を価値想像につなぐために

司会 北原和夫（日本学術会議特任連携会員・東京理科大学教授）

I. 提言「科学・技術を担う将来世代の育成方策～教育と科学・技術  
イノベーションの一体的振興のすすめ～」

柘植綾夫（日本学術会議連携会員・日本工学会会長）

II. 初等・中等教育と各教育段階を結ぶ橋渡し構造

上野耕史（日本学術会議特任連携会員・国立教育政策研究所調査官）

III. 大学院博士課程修了者を活用する社会とそのため教育の充実

谷口直之（日本学術会議連携会員・理化学研究所グループディレクター）

IV. 教育学及び教育現場からの課題

佐藤学（日本学術会議会員・学習院大学教授）

15:40 休憩

15:50 パネルディスカッション

モデレーター：室伏きみ子（日本学術会議会員

・お茶の水女子大学寄附研究部門教授）

登壇者：上野耕史、北原和夫、佐藤学、谷口直之、柘植綾夫

17:20 閉会挨拶 北原和夫（日本学術会議特任連携会員・東京理科大学教授）

（問い合わせ・申し込み先）

日本学術会議HPに掲載している宛先

■参加費：無料

■申込

以下の URL よりお申込み下さい。

URL：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>

■問い合わせ先

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

電話：03-3403-6295/FAX：03-3403-1260

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj\_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

[http://twitter.com/scj\\_info](http://twitter.com/scj_info)

☆-----★

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34